

Libraree

2018年が明けました。今年も宜しくお祈りします。平成も30年となり、そして残り僅かです。先日は大寒波に日本が覆われ、寒い寒い年明けでした。インフルエンザも流行の兆しです。こんな時は無理な外出はせず、暖かい家の中でじっくり読書でもいかがですか。直木賞・芥川賞も決まり、今週には本屋大賞ノミネート作品も発表されます。読みたい本がなかなか見つからない人は、受賞作品を手にとってみると、ハズレが少ないと思います。本屋大賞は候補作を読み自分の大賞を選ぶのも楽しいですよ。

3年生 返却をお願いします!

長期延滞者には12月に督促状を出しています。自由登校も近いので、速やかに返却をお願いします。

締切は1月31日(水)です
ラストまで全速力で!
悔いのないように♪!

平成29年度
多読賞

第158回 芥川賞直木賞

話題の『ふたご』藤崎 彩織著は受賞ならず。芥川賞は二人ともに初候補・初受賞!

□芥川賞□

『百年泥』石井 遊佳

大阪・枚方市生まれ。大学時代から小説を書き始め、今はインド南部のチェンナイで日本語教師。

『おらおらでひとりいぐも』若竹千 佐子

岩手県遠野市出身。子ども2人を育てた専業主婦。2番目に最高齢受賞。

□直木賞□

『銀河鉄道の父』門井 慶喜

群馬県生まれで大阪 寝屋川市在住。大学の事務職員を経てデビュー。3回目の候補での受賞。



辞書って
すごい!!

広辞苑 第7版 岩波書店 刊行

広辞苑第7版が、今月12日に岩波書店から刊行されました。10年ぶりとなる「国民的国語辞典」の大改訂。この10年の言葉の動きに合わせ、1万項目が新たに加わり、計25万に及ぶ豊かな言葉の世界が一冊に!

第7版の作業は2013年から始まる、まさに『舟を編む』(三浦しをん著)の世界がそこにあった。辞典編集部を中心に社内の十数人のメンバーが、専門家約220人とやりとりして進行。追加語はく上から目線×自撮り×無茶振り×アプリ×ツイート×LCC×ピットコインなどが、定着した語、定着すると考えられる語として選ばれた。これだけでも時代を感じられるのだ。

付録『広辞苑をつくるひと』では、三浦しをんさんが《つくるひと》を取材、『舟を編む 取材版』とでも言うべき読みごたえある貴重な小冊子となっており、辞書の奥深さを深く知ることができる。電子辞書もいいけど、紙もいい。

広辞苑
第七版

岩波書店

New Arrival Books

■友情 平尾誠二と山中伸弥「最後の一年」

山中伸弥 平尾誠二・恵子 講談社



□宮澤賢治の地学教室 柴山 元彦 創元社



■天才棋士加藤一二三の挑み続ける人生

加藤 一二三 日本実業出版社



□まんがでわかるまんがの歴史 KADOKAWA



■ギネス世界記録2018

KADOKAWA



□カッコいい資格図鑑 絶対取るべき400種 主婦の友社



■本の本 夢眠書店、はじめます

夢眠 ねむ 新潮社



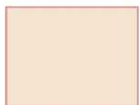
□注文をまちがえる料理店 忘れちゃったけどまちがえちゃったけどまあいいか 小国 士朗 あさ出版



■空からのぞいた桃太郎

影山 徹

岩崎書店



□おみやげのデザイン PACKAGE design for food gifts IN JAPAN

ビー・エヌ・エヌ新社

